

「運を呼び込むには」

校長 博田 英明

生徒の皆さん、新年明けましておめでとうございます。校長の博田です。

まず皆さんには、オミクロン株による市中感染の急速拡大を踏まえ、改めて学校や家庭における基本的な感染予防対策の徹底と、体調不良の時は決して無理をしないことをお願いします。

さて、皆さんはこの冬休みをどう過ごしましたか？ 初詣に出かけて今年一年の開運を願った人も多いことでしょう。今日は、皆さんが新しい一年を迎えるにあたり、開運つまり「運を呼び込む」ためのヒントについてお話ししたいと思います。

私はこの年末年始に、何度か足を運んだお店があります。そのお店に行くと、いつもワクワクします。そのお店は、100円ショップ、いわゆる「百均」です。百均に行くといつも驚くことがあります。それは、「品ぞろえが日に日に増えていてすごいな」とか「100円で売って本当に儲けが出るの？」という感想や疑問です。先日、「東洋経済」という雑誌の中で元祖100円ショップの創業者へのインタビュー記事がありましたのでご紹介します。

100円ショップ「ダイソー」の会長、矢野博文（やの ひろたけ）さんは、現在国内3,620店舗、海外2,272店舗を展開し、従業員22,821名、年間5,000億円を超える売上高を誇る大創産業の創業者です。矢野さんの人生は起伏に富んでいます。若くして700万円の借金を背負って夜逃げ。その後、セールスマンやちり紙交換など9回の転職を経て1972年、雑貨の移動販売を行う「矢野商店」を創業し独立しました。1987年から「100円SHOP ダイソー」の開始とともにチェーン展開を本格化し、現在に至ります。矢野さんは私と同じ広島県出身ですので、とても親近感があります。

矢野さんが最初に100円ショップを始めたとき、取引先の銀行やコンサルタントからは「やめたほうがいい。いくら儲けても1品100円。そこから原材料費を引いて、人件費を引いて、家賃を引いたら、どう考えても儲かるわけがない、商売になるわけがない」と言われました。創業した1987年当時、100円ショップは利用者にとっては革命的でしたが、矢野さんからすれば、仕方なしにやったことで、決して戦略的にやったことではないそうです。戦略的にやるよりも目の前のことを、行き当たりばったりでも一生懸命やったほうがいいと考えていました。それは若い頃夜逃げしたときの苦しさ、悲しさ、絶望感があったからです。当時は自分の人生は終わったと思い、自分には運も能力もないと思われたそうです。

矢野さんはこう言っています。「運は他力で、能力は自力。他力からも自力からも見放されたら、本当にしんどい。ただ100円ショップを始めたとき、価格が100円でもいいものを売りたいと思った。『安物買いの銭失い』とは言わせたくない。100万円の車は高級とは言えないけど、100万円の家具は高級だ。私は100円で高級品を売っている。能力はないけど、

一生懸命働いた。今思うのは、最終的には「運」です。運は親や先祖からもらったものが半分、残りの半分は毎日一分一秒自分がつくっている。残り半分の運をどうつくるかを考えたほうがいいと思うようになりました」。

矢野さんの話す、この「運」という言葉に私は注目しました。矢野さんは若い人へのメッセージとして、こう話しています。「人は支えられて生きています。人を支えるものが運です。運はいいことの積み重ねですから。やはり笑顔のいい人や前向きになって働く人には周りに人がついてくる。恵まれていることを感謝するとか、人のためにとか、神様やお天道様が喜ぶような生き方が運ですよ」と。ちなみに大創という会社名は創業当時、「会社の規模はまだまだ小さいけど、名前だけは大きなものにしよう」という意気込みから「大きく創る」を「大創」としたのが由来だそうです。

さて、3年生の皆さんの多くは、今週末に迫った大学入学共通テストや一般選抜受験など進路実現のための本番がこれから始まります。また1・2年生は年度末に向けて学習面でもしっかり実力を蓄える大事な時期です。こうした目の前にある目標達成に向けて、今日お話しした「運を呼び込む」ために何事にも前向きに笑顔で接してみてください。ダイソーの矢野さんの言う通り、「運を呼び込む」のは結局自分自身なのかもしれません。今年度の締めくくりとなる第3学期が皆さんにとって実りあるものとなるよう期待しています。

最後に、この場をお借りして、これからの大学入試に関わる東京都教育委員会からのお知らせがありますので、お話しします。

大学入学共通テストについて、一時オミクロン株濃厚接触者の受験が難しい等の報道がありました。12月28日、文部科学省からそのことについて訂正する旨の通知がありました。ポイントとしては、オミクロン株感染者の濃厚接触者も別室受験可能ということです。安心して受験に臨んでください。

詳細は、3年生と保護者の皆さんに先日お送りした39メールにリンクがある文部科学省URLから確認してください。

以上で私の話を終わります。

令和4年1月11日

都立松が谷高等学校長 博田 英明